

有限会社アール・シーウメハラ
静岡市駿河区小鹿1394-1
TEL : 054-203-6477
FAX : 054-284-8120
編集・発行 2021. 1. 20

室内のカビ

● 室内でカビが出やすい場所



家具やベッド等

1F北側やコンクリート面等に近いところなど、環境により湿度の高い場所があります。壁に家具やベッド等を密着させていると裏側がカビてしまっているケースがよくあります。



窓・サッシ周り

結露した水分が停滞し、常に湿気を帯びているとカビが繁殖しやすい環境になってしまいます。部屋の湿度に気を配り加湿と結露の関係性に注意しましょう。



天井周辺

天井周辺の角部など空気が滞るところは湿気が溜まってカビてしまいます。サーキュレーター等で室内全体の空気を上手くまわす様に工夫しましょう。

生活空間には常に60種類ほどの菌が存在すると言われているため、一定の温度・湿度の条件が揃ったことで、視覚的に菌の繁殖が確認されます。近年の異常気象（高温・多湿・長雨）によりこのようにカビが出てきてしまう事例は全国的に見ても増加傾向にあり、空間の湿度管理はもちろん、菌そのものの除去、及びこれから繁殖させない防カビ処理をする必要性があります。



うめの樹からおすすめのカフェレストラン

うめの樹の独断と偏見で選んだコアなお店!!

Cafe Restaurant Mioritomo】

住所 〒418-0039 静岡県富士宮市野中1136-7

tel 0544-27-9041

営業時間 AM11:00～PM9:00

定休日 月曜日 月曜日が祝日の場合、翌火曜日

@mioritomo

富士宮ゴルフクラブのそばにあるカフェレストランです。ランチタイムには富士山、ディナーでは夜景を見ながらゆったりとした時間を過ごせます。もともとホワイトソース系が有名なお店ですが、こだわりの生麺パスタやデミグラス系も絶品！テイクアウトメニューも充実しています♪



#富士山の見えるカフェ #隠れ家すぎるカフェ

うめの樹

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年暮れから始まった全国高校サッカー選手権大会、我が母校である静岡学園サッカーチームは準々決勝まで進みましたが残り5分を切ったところでまさかの同点弾を浴びPK合戦の末、惜敗するという結果で終わりました。そして皮肉にも勝ち上がったチームからウイルス陽性者が出てしまい準決勝を辞退するなど本当にいつ何が起きるか分からない...を痛感させられた年明けでした。選手達にとってはこれから長い人生の中の一つの通過点に過ぎず、全てのチームが宿敵・青森山田を目指し猛練習に励んでいたとは思いますが、これを糧に次のステップに切り替えて貰えればとも思います。ショックが大きいのはご父兄の皆さんかな...。早くこの脱力感や子供への期待、依存から抜け出して自分達の人生を謳歌して欲しいとも思います。とにかくお疲れ様でした。

恩師・井田勝通監督の兄弟分で親交の深かった長崎の小嶺先生が亡くなりました。私もお話をしましたが非常に残念ですが、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。小嶺先生が教え子達へ放ったお言葉に「自信と過信は紙一重」というお話が合ったそうで、まさに今回の敗戦はこの紙一重のところで足元を抄われた様な気がします。子供たちはいくらでもやり直しが効きますが経営者や社会人の大人達は一度の失敗が取り返しがつかない場面が多くあります。交通事故、ちょっとした油断からのウイルス感染、政治家や社会的地位のある人達の言動、工事現場や工場などのちょっとした不注意での事故や事件、火災などは毎日のように新聞上を賑わしています。

改めて攻め続けながらも「ブレないビジョン」と「リスクマネジメント」がこの情報過多の社会では重要なのかな...と考えさせられます。本年も気を引き締めて頑張ろうと思います。

具体的には、①脱炭素へ向けてのカーボンニュートラルの実現。その為に、『えこきーぱー』での生産設備や工業炉の庶熱対策、もっと言えば住宅なども含め世の中の熱対策に対して一石を投じられると考えています。従来の厚みを付けたグラスウール等での断熱は断熱材の中に蓄熱し熱の塊になってしまい、いつまで経っても冷えない・温まらないとなってしまいます。熱伝達の殆ど7~8割は輻射熱なのでその輻射熱のコントロールをいかにするかが断熱・保温・保冷・遮熱の根源である事を寄り追求して行きます。

②としては、微生物対策。ウイルス感染対策については景品表示法や薬事法の問題もあり中々深入りは難しいのですが、これまで通りルールを守って無理をせず、でも今までの実績や高いエビデンスに少しづつアレンジをしながら困っている方々のお役立てができるとを考えます。しかしながら本当に怖いのはカビや細菌、そしてもっと強毒な変異ウイルスが出てくる事です。最近私達のところに相談がある案件で、一つは医療・介護施設でのカビの問題です。両施設とも夏場でもあまりエアコンの設定を下げる出来ず、コロナ禍で外気を入れる事(換気)に注意していると部屋内の湿度が上がってカビてしまうというケースです。写真を見ると「これ病院なの!?'とビックリされるくらいカビているところが結構あります。次に新築物件(中古もあるかな)でのカビ。幾つかのパターンがあるけれど、この数年多いのは引っ越ししてきた建物はカビていないけど入れ込んだ家具やベッドの裏側や下がカビたり服や靴・バッグがカビてしまうケース。住む側からすれば建築屋さんや設計の不備としたがるけれど、殆どの判例では施主が一審で棄却...なんて事が多いそうで出てしまったカビは自分持ち...となる様です。では何故こんな事になってしまったのか?次ページにて掘り下げてみたいと思います。

代表取締役 梅原 勇

施設と一般住宅のカビ



●病院や介護施設でのカビ



こちらの病院では空調機が汚れており、同定された菌からアスペルギルス症や日和見感染症の原因菌が検出されました。汚れたままの空調機を使用していると、室内にカビを拡散させてしまう危険性があります。

推測できるカビの繁殖原因

- ①空調機の汚れ
- ②近年の異常気象による温度上昇と長雨による湿度の上昇
- ③コロナ禍での外気の入れ過ぎによる温度と湿度の上昇

同じような環境が原因で
カビが出て困っているといった
相談が増加しています！

カビがこのように繁殖した原因は環境管理が十分でなかったためです。コロナ禍で換気も大切ですが、換気後の室温と湿度と同じ湿度計を各部屋に設置するなりして観察し、一定になるよう心がけましょう。また、普段の清掃に合わせて守護神スプレー・カビ守護神スプレーを使用して環境をより良く長期的に保ちましょう。

●引っ越し後にカビがでたケース（一般住宅）

ベッドの裏にカビが出ていました。ベッド裏の木部に湿気がたまってしまい、そこでカビが繁殖。放置しておくとカビの胞子を就寝時に吸い込む可能性があるため早めの対応が必要です。



ベッド下は、湿気が滞りやすいため木材以外でもカビ易くなってしまいがちです。引っ越し先に家具を持ち込む場合は引っ越し前、もしくは引っ越し後に防カビをすることをおすすめします。室内に湿度計を設置し、湿度の高い時間帯などを把握して対策をしましょう。換気やサーキュレーターなどで夏場で50%、冬場で40%程度を目標とし、湿度の改善が見られない場合は除湿機に頼ってみましょう。

引っ越しとカビ



まだ寒い時期が続いますが、春に向けて新生活の準備を考え始める人も多いでしょう。

3月、4月の引っ越しシーズン前に引っ越し時のカビの注意点と対策をご紹介します。

●引っ越し後のカビ

引っ越しは荷物の準備だけでなく手続きも多くて大変！引っ越し後ようやく落ち着いて生活できるぞ、という時に家具にカビが生えてた・・・なんてことを相談されます。引っ越ししてきたばかりで家はきれいなはずなのになんで！？と思う方が多いのですが、実は引っ越し前のお家から荷物と一緒にカビなどの菌も引っ越しして来ている場合が多いです。菌は家具にも服にも何にでも存在しているため、今までの生活空間では繁殖しなかった菌も、引っ越しシーズン春先などに急に温度、湿度が高くなると猛繁殖をしてしまいます。カビを増やさないためには各部屋に同じ湿度計を設置して気を配り環境を整えることが大切です。また、新築の家では基礎部分に含まれている水分が蒸発して湿度が高めになります。建物の基礎はコンクリートやセメント、水、砂、砂利などで構成されていて、基礎に含まれている水分が新築時～約2年ほどかけて蒸発していくため、この水分が蒸発しきらずに家の中で溜まってしまうと菌の繁殖しやすい環境となってしまいます。そのため新築なのにカビが出てきたと、構造上の欠陥が問題ではないかと裁判を起こす場合もありますが、大抵は一審で棄却されてしまうため自分の住んでいる環境は自分で整えることが望ましいです。

【防カビの方法】

①まず既に出来ているカビや汚れを除去します

青ラベルの守護神スプレーを噴霧してやわらかいタオル生地等で優しく吸い取るように押さえ付け、こすらないようにして除去しましょう。



②どんな箇所でもまず守護神スプレーで除菌！そして乾燥を

一見きれいに見えてもどんなところでも菌がいるため、除菌をして菌を不活化させます。正確に除菌し、よく乾燥させることがポイントです！



③カビ守護神スプレー・カビ守護神コーティング剤で防カビ！再び乾燥を

浸透性のある場所へはカビ守護神スプレーにて防カビを行います。浸透性のないツルツルした面にはカビ守護神コーティング剤を吹き付けて、コテバケやマイクロファイバーウエス等で薄く伸ばして磨いてあげましょう。その後乾燥させて防カビ完了です！

